

令和5年度 教育委員会の事務・事業の点検及び評価シート
【 令和4年度事務・事業分 】

事務事業番号	1
事務事業名	公民館事業（いきいき教室）

担当名 文化社会教育課生涯学習係

令和4年度 予算の状況		金額(千円)	
款	10 教育費		
項	4 社会教育費		
目	2 公民館費		
	節		
	7 報償費		84
	8 旅費		12
	10 需用費		142
	11 役務費		5
	13 使用料及び賃借料		204
	計		447
	補助金等の有無	有	・(無)
(有 の 場 合)			
名 称			
金 額			

(事 務 ・ 事 業 の 概 要)	
①目的	町内の高齢者を対象に、教養の向上と交流を深め、生涯学習の推進を図ることを目的とする。
②事業主体	教育委員会
③事業内容及び対象者等	・対象者 町内在住の65歳以上の方 ・工作づくり、座学など ・5月から12月まで3地区合計21回実施した。 計 21回実施 延べ393名参加

○ 決算額の推移			
区 分/年 度	R2	R3	R4
決 算 額	64	197	232
対 前 年 比	△ 54	133	35

◎ 事業評価 (自己評価)				
○ 点数による評価				
区 分	要改善	要検討	妥 当	良 好
事 業 内 容	1	2	③	4
財 政 面	1	2	③	4
目 的 達 成 度	1	2	③	4
総 合 評 価	1	2	③	4

○ 指標で表せない効果等
参加者同士の交流が図られて豊かな老後を過ごすための機会を提供。

点検・評価にあたって特記する事項等

- ・各地区高齢者の方々が月1回の楽しみとして、参加している事業であり、参加者相互の地域間交流が図られ生きがいとなっている。
- ・参加者が楽しく学べるプログラムを関係機関とも連携を図り検討する。
- ・大沢地区の参加人数が減少してきているため、参加者ができるだけ多くの方々と交流を図れるよう、令和2年度から松前地区と統合し開催。

◎松前町教育委員会外部評価の点検・評価の概要

○ 点数による評価				
区 分	要改善	要検討	妥 当	良 好
事 業 内 容	1	2	③	4
財 政 面	1	2	③	4
目 的 達 成 度	1	2	3	④
総 合 評 価	1	2	3	④

○ 点検・評価に対するコメント等
高齢者の交流の出来る場があることはとても良い事である。楽しく学べるプログラムを工夫して一人でも多くの方が参加したいという物にして周知して頂きたい。また参加者を増やし町内会単位で災害時の避難に役立ててもらいたい。

令和5年度 教育委員会の事務・事業の点検及び評価シート
 【 令和4年度事務・事業分 】

事務事業番号	2
事務事業名	公民館事業（百人一首カルタ大会）

担当名 文化社会教育課生涯学習係

令和4年度 予算の状況	
款	10 教育費
項	4 社会教育費
目	2 公民館費
節	金額(千円)
7 報償費	95
10 需用費	14
11 役務費	5
計	114
補助金等の有無	有 ・ (無)
(有 の 場 合)	

〔 事 務 ・ 事 業 の 概 要 〕	
①目的	昔の遊びを通して、集中力や責任感を養うとともに、人とのふれあいを通じて情操教育の推進を図ることを目的とする。
②事業主体	教育委員会
③事業内容及び対象者等	大会及び交流会の開催 令和3年度まで新型コロナウイルス感染症の影響により中止としていましたが、令和4年度から大会を再開した。
④事業内容及び対象者等	・開催年月日 令和5年1月29日 午前9時～午後2時30分 ・場 所 松前町民体育館 1階武道場 ・対象者 小学生～一般 ・参加者 ミックスの部 7チーム 25名 ※参加者が少なく大人も入れたミックスの部を設けて開催 ・大会前に講習会を3回開催 延べ49名参加 開催日：令和5年1月11日～13日 場 所：松前町民総合センター 1階和室

名称			
金額			
○ 決算額の推移			
区分/年度	R2	R3	R4
決 算 額	0	0	73
対 前 年 比	△ 75	0	73

◎ 事業評価（自己評価）				
○ 点数による評価				
区 分	要改善	要検討	妥 当	良 好
事 業 内 容	1	(2)	3	4
財 政 面	1	2	(3)	4
目 的 達 成 度	(1)	2	3	4
総 合 評 価	1	(2)	3	4

○ 指標で表せない効果等
 北海道独自の下の句百人一首かるたで、昔の遊びとして定着し大会としていた。年齢問わず参加することができる。

点検・評価にあたって特記する事項等
 ・講習会及び大会の講師・読み手のみなさんには、練習指導においても協力をいただいている。
 ・百人一首カルタ大会や練習は集中力、積極性、礼儀やチームワークを養う絶好の機会となっている。
 ・初心者でも、参加できる環境づくりが必要である。
 ・百人一首カルタは、相手、味方と接触することから、コロナ禍での開催については道子連が作成中のガイドラインを基に検討が必要。

◎松前町教育委員会外部評価の点検・評価の概要

○ 点数による評価				
区 分	要改善	要検討	妥 当	良 好
事 業 内 容	1	(2)	3	4
財 政 面	1	2	(3)	4
目 的 達 成 度	1	(2)	3	4
総 合 評 価	1	(2)	3	4

○ 点検・評価に対するコメント等
 講師読み手不足、参加人数減少など問題はありますが継続してほしい。また長く続けてきた行事ですので継続してほしい。初心者が1人で参加するのは難しいので、学校の授業で取り組む等の検討が必要である。

令和5年度 教育委員会の事務・事業の点検及び評価シート
 【 令和4年度事務・事業分 】

事務事業番号	3
事務事業名	公民館事業（松前小島自然観察会・夏休みワクワク探検隊・親子で釣り体験・防災ディキャンプ）

担当名	文化社会教育課生涯学習係
-----	--------------

令和4年度 予算の状況		金額(千円)
款	10 教育費	
項	4 社会教育費	
目	2 公民館費	
節		
	7 報償費	50
	10 需用費	212
	13 使用料及び賃借料	170
	17 備品購入費	109
計		541
補助金等の有無		有 ・ <input type="radio"/> (無)
(有 の 場 合)		
名称		
金額		

○ 決算額の推移				
区分/年度	R2	R3	R4	
決算額	0	291	198	
対前年比	△ 70	291	△ 93	

○ 指標で表せない効果等
 国の天然記念物に指定されている松前小島に上陸することは貴重な体験となり、その体験を発信することにより、観光客誘致に繋がる。
 また、他の親子対象3事業も親子のふれあいを目的として実施していますが、親子のみならず、保護者同士の交流も図られる。

(事 務 ・ 事 業 の 概 要)

①目的
 ●松前小島自然観察会
 松前小島の自然に対し、登山や草花観察を通して小島の自然に親しむとともに、あわせて親子のふれあいを図る。
 ●夏休みワクワク探検隊
 親子のふれあいや子ども達の夏休みの思い出作りのほか町民総合センターを身近に感じてもらう機械の提供を目的とする。
 ●親子で釣り体験
 故郷の海を身近に感じてもらうための機会を提供するほか、親子の触れ合いを目的に釣り体験を行う。
 ●防災ディキャンプ
 自然災害について理解を深め、防災への関心を高めるとともに、非常時における実践力を身に付ける。

②事業主体 教育委員会
 ③参加者
 ・松前小島自然観察会～令和4年度は悪天候により中止
 ・夏休みワクワク探検隊～児童15名、保護者9名
 ・親子で釣り体験～児童11名、保護者11名
 ・防災ディキャンプ～児童6名、保護者3名

○ 事業評価（自己評価）

○ 点数による評価

区 分	要改善	要検討	妥 当	良 好
事業内容	1	2	③	4
財政面	1	2	③	4
目的達成度	①	2	3	4
総合評価	1	②	3	4

点検・評価にあたって特記する事項等
 ・町内の児童にとって、上陸する機会がほとんどない離島小島に渡り、島の自然や歴史などを学ぶことにより、参加者にとって大きな刺激となることから、なかなか体験できない事業なので多くの方々に周知参加を促し、来年度以降も他の親子対象3事業と同様に実施に向け取り組みを進めていく。

◎松前町教育委員会外部評価の点検・評価の概要

○ 点数による評価					○ 点検・評価に対するコメント等 小島自然観察会は天候に左右されますが、なかなか体験できない事業なので多くの方々に周知して参加者も増やすようにして継続されたい。またほかの親子対象3事業も継続されたい。
区 分	要改善	要検討	妥 当	好	
事業内容	1	2	③	4	
財政面	1	2	③	4	
目的達成度	①	2	3	4	
総合評価	1	②	3	4	

令和5年度 教育委員会の事務・事業の点検及び評価シート
【 令和4年度事務・事業分 】

事務事業番号	4
事務事業名	子育て支援事業

担当名	文化社会教育課生涯学習係
-----	--------------

令和4年度 予算の状況	
款	10 教育費
項	4 社会教育費
目	2 公民館費
節	金額(千円)
7 報償費	0
計	0
補助金等の有無	(有) ・ 無
(有の場合)	

(事務・事業の概要)	
①目的	子どもを健やかに育てていくために、子どもの成長とともに親として成長していくための支援を目的とする。
②事業主体	教育委員会と町PTA連合会、渡島PTA連合会との合同開催
③事業内容及び対象者等	子育て応援セミナーの開催 昨年度に引き続きは新型コロナウイルス感染症の影響により子育て応援セミナーの開催を中止とした。

名称	教育支援活動促進事業補助金(家庭教育)		
金額	※事業中止により補助金の申請取り下げ 0千円		
○ 決算額の推移			
区分/年度	R2	R3	R4
決算額	0	0	0
対前年比	0	0	0

◎ 事業評価(自己評価)				
○ 点数による評価				
区分	要改善	要検討	妥当	良好
事業内容	1	②	3	4
財政面	1	2	③	4
目的達成度	①	2	3	4
総合評価	1	②	3	4

○ 指標で表せない効果等
子育てに不安を持つ親が悩みや不安を解消するための情報交換する場が作られる。

点検・評価にあたって特記する事項等
・子育てに対する親の悩みや相談に対してアドバイスができるようH22年度から親学基礎講座を開催し、H26年度からは子どもと共に親も成長していくための支援として子育て応援セミナーを実施。 ・今後はコロナ禍でどのようにセミナーを実施するかなど、町PTA連合会、渡島PTA連合会と協議していく。

◎松前町教育委員会外部評価の点検・評価の概要

○ 点数による評価				
区分	要改善	要検討	妥当	良好
事業内容	1	②	3	4
財政面	1	2	③	4
目的達成度	①	2	3	4
総合評価	1	②	3	4

○ 点検・評価に対するコメント等
少子化ではありますが、子育てに不安をもつ親の心配は変わらないので町PTA連合会で親同士のつながりが強くなるよう努力してほしい。また講座の内容は大切なので参加したくなるテーマにして継続されたい。

令和5年度 教育委員会の事務・事業の点検及び評価シート
 【 令和4年度事務・事業分 】

事務事業番号	5
事務事業名	地域学校協働活動事業

担当名	文化社会教育課生涯学習係
-----	--------------

令和4年度 予算の状況	
款	10 教育費
項	4 社会教育費
目	2 公民館費
節	
8 旅費	金額(千円) 31
10 需用費	153
計	
184	
補助金等の有無 (有) ・ 無	
(有の場合)	

〔 事務・事業の概要 〕	
①目的 学校と地域の関係の希薄化など各種課題の緩和及び解消を図るため、地域人材を活用した教育活動の推進を図ることを目的とする。	
②事業主体 教育委員会・松前学園	
③事業内容及び対象者等 陸上教室（大島小・小島小・松城小） ウニ採り体験（松城小） 松前学「いか飯づくりほか」（松前高） 郷土料理「くじら汁ほか」（松前中）	

名称	教育支援活動促進事業補助金（学校支援活動分）		
金額	39千円		
○ 決算額の推移			
区分/年度	R2	R3	R4
決算額	188	180	171
対前年比	11	△ 8	△ 9

◎ 事業評価（自己評価）				
○ 点数による評価				
区分	要改善	要検討	妥当	良好
事業内容	1	2	③	4
財政面	1	2	③	4
目的達成度	1	2	③	4
総合評価	1	2	③	4

○ 指標で表せない効果等	
郷土芸能体験も実施しており、保存継承につながっている。	

点検・評価にあたって特記する事項等	
<ul style="list-style-type: none"> 各学校では、ふるさと学習応援団など地域の人材を活用した事業が実施できている。 学校と地域との協働により、ふるさと学習や松前学の取り組みがより充実するよう、学校との連携を強化する。 	

◎松前町教育委員会外部評価の点検・評価の概要				
○ 点数による評価				
区分	要改善	要検討	妥当	良好
事業内容	1	2	③	4
財政面	1	2	③	4
目的達成度	1	2	3	④
総合評価	1	2	3	④
○ 点検・評価に対するコメント等				
地域との協力によりふるさと学習や松前学の取り組みなど大変良いので継続してほしい。また地域の方との協働で郷土芸能等の保存継承にもつながっていて子ども達には良い体験が出来ていると思う。				

令和5年度 教育委員会の事務・事業の点検及び評価シート
 【 令和4年度事務・事業分 】

事務事業番号 6
 事務事業名 姉妹都市児童交流事業（まさき町）

担当名 文化社会教育課生涯学習係

令和4年度 予算の状況	
款	10 教育費
項	4 社会教育費
目	2 公民館費
節	
7	報償費 471
10	需用費 122
11	役務費 72
計 665	
補助金等の有無 有・ 無 (有 の 場 合)	
名称	
金額	
○ 決算額の推移	
区分/年度	R2 R3 R4
決算額	565 743 629
対前年比	△ 1.331 178 △ 114
○ 指標で表せない効果等	
お互いの町の魅力を知り、それを発信することによる経済効果や、知名度の上昇が期待できる。	

(事 務 ・ 事 業 の 概 要)	
①目的 松前町と愛媛県松前町は、町名が同じという縁で平成2年に姉妹都市提携を行い、平成22年度から始まった姉妹都市児童交流事業では、未来を担う子どもたちがそれぞれの町を訪ね、体験学習・体験交流を通して互いの町の文化を学び、姉妹都市交流の更なる進展を図ることを目的とする。 令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響により児童の往来を中止し、お互いのまちの特産品交流及び給食交流を実施した。	
②事業主体 教育委員会	
③事業内容及び対象者等	
○特産品交流	
・松前町全小学生 139名（大島小20名、小島小18名、松城小101名）	
・まさき町小学6年生 275名（北伊予小73名、岡田小85名、まさき小117名）	
《松前町→まさき町》 松前漬づくりキット、松前漬ほか	
《まさき町→松前町》 みかんジュース、はだか麦を使ったお菓子ほか	
○給食交流	
・松前町、まさき町全小中学校へお互いの町の特産品を使用した給食を提供。	
《松前町献立》 ビーフシチュー、里芋コロッケなど	
《まさき町献立》 三平汁、松前漬けなど	
◎ 事業評価（自己評価）	
○ 点数による評価	
区分	要改善 要検討 妥当 良好
事業内容	1 2 ③ 4
財政面	1 2 ③ 4
目的達成度	1 ② 3 4
総合評価	1 2 ③ 4
点検・評価にあたって特記する事項等	
・他の地域との交流は、他の町の魅力を知り自然や文化の違いを感じることが出来る貴重な経験となっているため、今後とも継続していく。	
・来年度以降は、往来事業を再開できるよう、進めていく。	

◎松前町教育委員会外部評価の点検・評価の概要

○ 点数による評価	
区分	要改善 要検討 妥当 良好
事業内容	1 2 ③ 4
財政面	1 2 ③ 4
目的達成度	1 2 ③ 4
総合評価	1 2 ③ 4

○ 点検・評価に対するコメント等	
コロナ禍で児童の往来は中止となりましたが工夫して代替事業を開催しており、今後とも継続されたい。	

令和5年度 教育委員会の事務・事業の点検及び評価シート
【 令和4年度事務・事業分 】

事務事業番号	7
事務事業名	姉妹都市生徒交流事業（伊達市）

担当名	文化社会教育課生涯学習係
-----	--------------

令和4年度 予算の状況	
款	10 教育費
項	4 社会教育費
目	2 公民館費
節	
7 報償費	42
10 需用費	234
金額(千円)	
計	276
補助金等の有無	有・(無)
(有の場合)	

(事務・事業の概要)	
①目的 松前町と福島県伊達市(旧梁川町)は、松前藩が文化4年(1807)から文政4年(1821)までの14年の間、梁川に移封されていた縁により昭和59年に姉妹都市を提携した。これまでに経済・文化・産業の各分野において交流を図り、H28年度から両中学校生徒会の交流が始まり、隔年で訪問と受け入れを実施している。	
②事業主体 教育委員会	
③事業内容及び対象者等	
・受入事業 令和4年8月1日～3日	
・松前中参加者 中学生6人、教諭3人、教委2人	
・梁川中参加者 中学生7人、教諭3人、教委1人	
・内容 松前中学校見学、交流の里づくり館宿泊、役場表敬訪問など	

名称			
金額			
○ 決算額の推移			
区分/年度	R2	R3	R4
決算額	0	0	275
対前年比	△628	0	275

◎ 事業評価(自己評価)				
○ 点数による評価				
区分	要改善	要検討	妥当	良好
事業内容	1	2	③	4
財政面	1	2	③	4
目的達成度	1	2	③	4
総合評価	1	2	③	4

○ 指標で表せない効果等	
お互いの町の魅力を知り、それを発信することによる経済効果や、知名度の上昇が期待できる。	

点検・評価にあたって特記する事項等	
・他の地域との交流は、他の町の魅力を知り自然や文化の違いを感じることができる貴重な経験となっているため、今後とも継続していく。	

◎松前町教育委員会外部評価の点検・評価の概要

○ 点数による評価				
区分	要改善	要検討	妥当	良好
事業内容	1	2	③	4
財政面	1	2	③	4
目的達成度	1	2	③	4
総合評価	1	2	③	4

○ 点検・評価に対するコメント等	
地域同士の交流もあるが、そこで友情なども芽生えると思う。子どもにとって一生の思い出になると思うので今後も継続されたい。	

令和5年度 教育委員会の事務・事業の点検及び評価シート
【 令和4年度事務・事業分 】

事務事業番号	8
事務事業名	体育事業（学校施設開放事業）

担当名	文化社会教育課生涯学習係
-----	--------------

令和4年度 予算の状況			
款			
項			
目			
節	金額(千円)		
計	0		
補助金等の有無	有・(無)		
(有の場合)			
名称			
金額			
区分/年度	R2	R3	R4
決算額			
対前年比			

(事務・事業の概要)

①目的
社会体育の普及振興のために、学校の施設を学校教育に支障のない範囲で町民の利用に供することを目的とする。

②事業主体
教育委員会

③事業内容及び対象者等

- ・町内小学校3校の体育館及び松前中学校の体育館、グラウンドの開放
- ・各団体代表者を学校開放主事、教頭を学校開放主事に委嘱。
- ・利用対象者は町民とし、利用方法は利用団体等からの申請に基づき教育委員会で許可する。
- ・利用実績は下記に記載

◎ 事業評価 (自己評価)

○ 点数による評価

区 分	要改善	要検討	妥 当	良 好
事業内容	1	2	③	4
財 政 面	1	2	③	4
目的達成度	1	2	③	4
総合評価	1	2	③	4

○ 指標で表せない効果等

利用する団体がルールやマナーを遵守し、責任をもって学校施設を利用することにより、礼儀や作法が身につけられる。

点検・評価にあたって特記する事項等

- ・地域の身近にある学校の協力のもと、地域活動やスポーツ活動の場として、文化の振興や健康の維持に学校施設開放が利用されている。
- ・大島小 0回 0人
ミニバス
- ・小島小 53回 358人
バレーボール、ミニバス
- ・松城小 109回 1,043人
バレー、ソフトバレー、サッカー、バドミントン
- ・松前中体育館 16回 199人
バドミントン
- ・松前中グラウンド 50回 500人

◎松前町教育委員会外部評価の点検・評価の概要

○ 点数による評価

区 分	要改善	要検討	妥 当	良 好
事業内容	1	2	③	4
財 政 面	1	2	③	4
目的達成度	1	2	③	4
総合評価	1	2	③	4

○ 点検・評価に対するコメント等

少年団、部活、クラブの枠を越えた松前町スポーツクラブを月1回開けないのか検討して継続されたい。

令和5年度 教育委員会の事務・事業の点検及び評価シート
 【 令和4年度事務・事業分 】

事務事業番号 9

事務事業名 体育事業（四町交流スポーツ大会）

担当名 文化社会教育課生涯学習係

令和4年度 予算の状況				
款	10	教育費		
項	5	保健体育費		
目	1	保健体育総務費		
		節	金額(千円)	
	7	報償費		57
	10	需用費		10
		計		67
		補助金等の有無		有 ・ （無）
（ 有 の 場 合 ）				
名 称				
金 額				
○ 決算額の推移				
区 分/年 度	R2	R3	R4	
決 算 額	0	11	51	
対 前 年 比	△ 5	11	40	
○ 指標で表せない効果等				
大会に向けた練習を行い、体力向上、健康増進のほか、生きがいづくりにもつながっている。				

（ 事 務 ・ 事 業 の 概 要 ）	
①	目的 西南四町のスポーツ交流を通じて、スポーツ技術の向上を図るとともに、相互の親睦を深めることを目的とする。
②	事業主体 四町教育委員会（松前、福島、知内、木古内）
③	事業内容及び対象者等 ・一般の部 ミドルエイジ野球、ソフトバレーボール ・各町持ち回りにより各競技を開催 ・ソフトバレーボール大会（知内町） 新型コロナウイルス感染症の影響により中止 ・ミドルエイジ野球（松前町） 令和4年8月28日（日）松前町民野球場

◎ 事業評価（自己評価）				
○ 点数による評価				
区 分	要改善	要検討	妥 当	良 好
事 業 内 容	1	2	③	4
財 政 面	1	2	③	4
目 的 達 成 度	1	2	③	4
総 合 評 価	1	2	③	4

点検・評価にあたって特記する事項等

・4町が共通して実施している種目であるソフトバレーボールと野球を通じて、参加者の技術向上やスポーツにおける4町の交流、親睦を深めている。

◎松前町教育委員会外部評価の点検・評価の概要																																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="5" style="text-align: center;">○ 点数による評価</td> </tr> <tr> <td style="width: 5%;">区 分</td> <td style="width: 5%;">要改善</td> <td style="width: 5%;">要検討</td> <td style="width: 5%;">妥 当</td> <td style="width: 5%;">良 好</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">事 業 内 容</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">③</td> <td style="text-align: center;">4</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">財 政 面</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">③</td> <td style="text-align: center;">4</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">目 的 達 成 度</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">③</td> <td style="text-align: center;">4</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">総 合 評 価</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">③</td> <td style="text-align: center;">4</td> </tr> </table>	○ 点数による評価					区 分	要改善	要検討	妥 当	良 好	事 業 内 容	1	2	③	4	財 政 面	1	2	③	4	目 的 達 成 度	1	2	③	4	総 合 評 価	1	2	③	4	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="1" style="text-align: center;">○ 点検・評価に対するコメント等</td> </tr> <tr> <td style="height: 80px;">今後も継続されたい。</td> </tr> </table>	○ 点検・評価に対するコメント等	今後も継続されたい。
○ 点数による評価																																	
区 分	要改善	要検討	妥 当	良 好																													
事 業 内 容	1	2	③	4																													
財 政 面	1	2	③	4																													
目 的 達 成 度	1	2	③	4																													
総 合 評 価	1	2	③	4																													
○ 点検・評価に対するコメント等																																	
今後も継続されたい。																																	

令和5年度 教育委員会の事務・事業の点検及び評価シート

【 令和4年度事務・事業分 】

事務事業番号	10
事務事業名	体育事業（城下マラソン&ヘルシーウォーキング大会）

担当名 文化社会教育課生涯学習係

令和4年度 予算の状況	
款	10 教育費
項	5 保健体育費
目	1 保健体育総務費
節	金額(千円)
8 報償費	114
10 需用費	72
11 役務費	5
17 備品購入費	29
計	220
補助金等の有無	有 ・ (無)

（ 事 務 ・ 事 業 の 概 要 ）

①目的
町民のスポーツに対する意欲を高め、町民相互の交流を深めるとともに、体力の向上を図ることを目的とする。

②事業主体
教育委員会

③事業内容及び対象者等
・10月8日実施
・マラソンの距離は年齢ごとに1km、2km、3km及び5kmに設定
・ヘルシーウォーキングは5km
※誰でも参加できるようH25から実施。
・申込者（前年度比較9名減。R3:180名 R4:171名）
・参加者

マラソン	小学生	43名	
	中学生	17名	
	一般男子	42名	(内高校生27名)
	一般女子	20名	(内高校生18名)
親子の部		24名	
ウォーキング		25名	
計		171名	

（ 有 の 場 合 ）

名 称	
金 額	

○ 決算額の推移

区 分/年 度	R2	R3	R4
決 算 額	0	74	187
対 前 年 比	△ 62	74	113

○ 指標で表せない効果等

親子の部を新設したことにより、応援する家族や関係者の来場が見受けられた。

◎ 事業評価（自己評価）

○ 点数による評価

区 分	要改善	要検討	妥 当	良 好
事 業 内 容	1	2	③	4
財 政 面	1	2	③	4
目 的 達 成 度	1	2	③	4
総 合 評 価	1	2	③	4

点検・評価にあたって特記する事項等

・スポーツ推進委員の協力を得て大会運営を行っている。
・H25年度から、幅広い年齢層の参加を集うためウォークコース（5km）を併設し、ラン・ウォーク大会として実施している。
・令和3年度からコース変更をして松前中学校グラウンドから公園連絡線のコースにして実施。松前高等学校生徒の参加も定着してきた。
・新型コロナウイルス感染症対策を講じての大会運営を行ったが、今後も対策を講じていく必要がある。

◎松前町教育委員会外部評価の点検・評価の概要

○ 点数による評価

区 分	要改善	要検討	妥 当	良 好
事 業 内 容	1	2	③	4
財 政 面	1	2	③	4
目 的 達 成 度	1	2	③	4
総 合 評 価	1	2	③	4

○ 点検・評価に対するコメント等

大会運営の人手不足や事務局の運営に問題を残しました。また一人でも多くの町民に参加してもらいたいののでその為には内容等話し合い良い大会にし、継続されたい。

令和5年度 教育委員会の事務・事業の点検及び評価シート
【 令和4年度事務・事業分 】

事務事業番号	11
事務事業名	体育事業（町民ソフトバレーボール大会）

担当名	文化社会教育課生涯学習係
-----	--------------

令和4年度 予算の状況	
款	10 教育費
項	5 保健体育費
目	1 保健体育総務費
	節
7 報償費	68
10 需用費	15
11 役務費	10
計	93
補助金等の有無	有・ <u>(無)</u>

（ 事 務 ・ 事 業 の 概 要 ）

①目的
軽スポーツを通じて、町民の体力づくりと相互の交流を図ることを目的とする。

②事業主体
教育委員会

③事業内容及び対象者等
・松前町民体育館で実施
・男女混合の部、女子の部別に予選リーグ戦及び決勝トーナメント戦を実施
・1位から3位までを表彰（賞状、副賞）
夏季大会（6月26日開催）
混合の部5チーム（26人）
男子の部4チーム（23人）
冬季大会（2月26日開催）
混合の部9チーム（55人）
男子の部5チーム（26人）

名称	
金額	

◎ 事業評価（自己評価）

○ 決算額の推移				
区分/年度	R2	R3	R4	
決算額	0	0	71	
対前年比	0	0	71	

○ 点数による評価				
区分	要改善	要検討	妥当	良好
事業内容	1	2	③	4
財政面	1	2	③	4
目的達成度	1	2	③	4
総合評価	1	2	③	4

○ 指標で表せない効果等
新型コロナウイルス感染症の関係で、4年ぶりの大会開催となった。久しぶりにソフトバレーを行う参加者や職場のレクリエーションで参加したチームもあり、大会を通じて町民の体力づくりや町民相互の親睦を深めることができた。

また、令和4年度の夏季大会及び冬季大会から参加対象も中学生からにした結果、参加者の増加にもつながりました。

点検・評価にあたって特記する事項等

- ・大会開催にあたり、スポーツ推進委員と参加者が協力して運営している。
- ・中高年の体力向上のため気軽に楽しめるスポーツとして各地域で定着しており、年2回の大会は各チームの目標ともなっている。
- ・町民の健康増進等のため、参加意欲をかき立てる景品や内容の充実を更に図っていく。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、夏季及び冬季の両大会は3年間とも中止となっていたが、令和4年度は実施。

◎松前町教育委員会外部評価の点検・評価の概要

○ 点数による評価				
区分	要改善	要検討	妥当	良好
事業内容	1	②	3	4
財政面	1	2	③	4
目的達成度	1	2	③	4
総合評価	1	2	③	4

○ 点検・評価に対するコメント等
参加対象を拡大した事や周知したことで参加人数も増えて良かった。内容はまだ検討の余地はあると思うが継続されたい。

令和5年度 教育委員会の事務・事業の点検及び評価シート

【 令和4年度事務・事業分 】

事務事業番号 12

事務事業名 体育事業（スポーツ教室）

担当名 文化社会教育課生涯学習係

令和4年度 予算の状況	
款	10 教育費
項	5 保健体育費
目	1 保健体育総務費
節	金額(千円)
7 報償費	123
10 需用費	10
計	133
補助金等の有無	有・(無)

(事務・事業の概要)

①目的
 北海道の児童・生徒の運動能力が全国平均・全道平均を下回る傾向となっていることから、子ども達にスポーツに親しむ機会を提供するとともに、運動習慣の定着化や体力づくりの推進を目的とする。

②事業主体 教育委員会、北海道

③事業内容及び対象者等
 ○「陸上教室」「コーチ・ペアレンツ講習会」
 陸上競技の高平慎士氏及び北海道オールオリンピックズGM鈴木靖氏を講師に招き、小中学生及び指導者等を対象に、陸上教室を開催。
 日時 令和4年6月5日(日)
 場所 松前中学校グラウンド
 参加者 陸上教室49名 講習会10名
 ○リズム・ジャンプ教室
 スポーツリズムトレーニング協会認定インストラクターの小林優太先生を招いて、体幹などを鍛える。
 日時 令和4年11月12日(土)
 場所 松前町民体育館
 参加者 58名

(有 の 場 合)

名 称			
金 額			

○ 決算額の推移

区 分/年 度	R2	R3	R4
決 算 額	110	127	127
対 前 年 比	△ 585	17	0

◎ 事業評価 (自己評価)

○ 点数による評価

区 分	要改善	要検討	妥 当	良 好
事 業 内 容	1	2	③	4
財 政 面	1	2	③	4
目 的 達 成 度	1	2	③	4
総 合 評 価	1	2	③	4

○ 指標で表せない効果等
 未就学児から大人まで、異なる年齢層が参加するため、世代間交流が図られる。

点検・評価にあたって特記する事項等

- ・リズム・ジャンプ教室～スポーツをするうえで必要な体幹やリズム感を鍛えることが出来るので、スポーツ少年団やスポーツ協会の団体にも積極的に声掛けを行いたい。未就学児がいる場合、どうしても難易度が下がってしまうので次年度は未就学児を別にするなどの対策も必要。
- ・「陸上教室」「コーチ・ペアレンツ講習会」～トップアスリートと直接ふれあい、基礎トレーニングやスキルアップ・理論はもちろんのこと競技への情熱や取り組み姿勢を感じ取ることができた。

◎松前町教育委員会外部評価の点検・評価の概要

○ 点数による評価

区 分	要改善	要検討	妥 当	良 好
事 業 内 容	1	2	③	4
財 政 面	1	2	③	4
目 的 達 成 度	1	2	③	4
総 合 評 価	1	2	③	4

○ 点検・評価に対するコメント等
 今後も継続されたい。

令和5年度 教育委員会の事務・事業の点検及び評価シート
【 令和4年度事務・事業分 】

事務事業番号 13

事務事業名 松前町文化表彰

担当名 文化社会教育課生涯学習係

令和4年度 予算の状況		金額(千円)	
款	10	教育費	
項	4	社会教育費	
目	1	社会教育総務費	
節			
	7	報償費	15
計			15
補助金等の有無		有・(無)	

(事務・事業の概要)

①目的
松前町文化表彰規則に基づき、文化の向上発展に関し、顕著な実績又は功績のあったものを表彰し、もって文化振興を図ることを目的とする。

②事業主体
教育委員会

③事業内容及び対象者等
・松前町文化表彰規則及び推薦規準要綱に基づき該当者を表彰
【表彰の種類】 文化賞・文化奨励賞・文化功績賞
【選考の流れ】 各学校、各町内会及び文化団体連絡協議会からの推薦→選考委員会(社会教育委員)の審査諮問→教育委員会で決定→表彰
【令和4年度受賞者】
文化賞 1名(松前高校 川原柚泉)
文化奨励賞 10名
(小学生6名、中学生2名、高校生2名)

名称

金額

◎ 事業評価(自己評価)

○ 点数による評価

区分	要改善	要検討	妥当	良好
事業内容	1	2	③	4
財政面	1	2	③	4
目的達成度	1	2	③	4
総合評価	1	2	③	4

○ 決算額の推移

区分/年度	R2	R3	R4
決算額	26	17	13
対前年比	1	△9	△4

○ 指標で表せない効果等
受賞者にとって受賞はとても名誉なことであり、一層の励みとなり、町の文化発展につながる。

点検・評価にあたって特記する事項等
・表彰対象者を漏らさないよう、住民の活動や受賞歴等の把握に努める。
・今後とも表彰が励みになるよう環境を整える。

◎松前町教育委員会外部評価の点検・評価の概要

○ 点数による評価

区分	要改善	要検討	妥当	良好
事業内容	1	2	③	4
財政面	1	2	③	4
目的達成度	1	2	③	4
総合評価	1	2	③	4

○ 点検・評価に対するコメント等
今後も継続されたい。

令和5年度 教育委員会の事務・事業の点検及び評価シート
【 令和4年度事務・事業分 】

事務事業番号 14

事務事業名 松前町スポーツ表彰

担当名 文化社会教育課生涯学習係

令和4年度 予算の状況				
款	10	教育費		
項	5	保健体育費		
目	1	保健体育総務費		
節		金額(千円)		
	7	報償費		80
計				80
補助金等の有無		有 ・ (無)		
(有 の 場 合)				
名称				
金額				
○ 決算額の推移				
区分/年度	R2	R3	R4	
決算額	6	54	100	
対前年比	△ 20	48	46	
○ 指標で表せない効果等				
・ 受賞者にとって受賞はとても名誉なことであり、一層の励みとなり、町全体のスポーツ振興につながる。				

（ 事 務 ・ 事 業 の 概 要 ）				
①目的 松前町スポーツ表彰規則に基づき、スポーツ大会で優秀な成績をおさめたもの及びスポーツの振興に著しく貢献したものを表彰し、スポーツの推進を図ることを目的とする。				
②事業主体 教育委員会				
③事業内容及び対象者等 ・ 松前町スポーツ表彰規則及び推薦の基準（内部規程）に基づき該当者を表彰				
【表彰の種類】 スポーツ賞、スポーツ奨励賞、スポーツ功績賞				
【選考の流れ】 各競技団体等からの推薦→選考委員会の審査諮問→教育委員会で決定→表彰				
【令和4年度受賞者】 ・ スポーツ賞 2個人 ・ スポーツ奨励賞 5個人、1団体 ・ スポーツ功績賞 0個人				
○ 事業評価（自己評価）				
○ 点数による評価				
区分	要改善	要検討	妥当	良好
事業内容	1	2	③	4
財政面	1	2	③	4
目的達成度	1	2	③	4
総合評価	1	2	③	4
点検・評価にあたって特記する事項等				
・ 表彰対象者を漏らさないよう、住民の活動や受賞歴等の把握に努める。 ・ 今後とも表彰が励みになるよう環境を整える。				

◎松前町教育委員会外部評価の点検・評価の概要

○ 点数による評価				
区分	要改善	要検討	妥当	良好
事業内容	1	2	③	4
財政面	1	2	③	4
目的達成度	1	2	③	4
総合評価	1	2	③	4

○ 点検・評価に対するコメント等
今後も継続されたい。

令和5年度 教育委員会の事務・事業の点検及び評価シート
【 令和4年度事務・事業分 】

事務事業番号 15

事務事業名 松前町二十歳の集い

担当名 文化社会教育課生涯学習係

令和4年度 予算の状況		金額(千円)	
款	10	教育費	
項	4	社会教育費	
目	2	公民館費	
節			
	7	報償費	258
	10	需用費	134
	11	役務費	47
計			439
補助金等の有無		有 ・ (無)	
(有 の 場 合)			
名 称			
金 額			

(事 務 ・ 事 業 の 概 要)

①目的
大人になったことを自覚し、自ら生きぬこうとする新成人を祝い励ますことを目的とする。

②事業主体
教育委員会・松前町

③事業内容及び対象者等
・対象 平成14年4月2日～平成15年4月1日生まれ
男子26人 女子26人 計52人

④会場
松前城 観濤台

◎ 事業評価 (自己評価)

○ 点数による評価				
区 分	要改善	要検討	妥 当	良 好
事 業 内 容	1	2	③	4
財 政 面	1	2	③	4
目 的 達 成 度	1	2	③	4
総 合 評 価	1	2	③	4

○ 決算額の推移

区 分/年 度	R2	R3	R4
決 算 額	196	292	250
対 前 年 比	89	96	△ 42

○ 指標で表せない効果等

二十歳を祝う式典として行っているが、開始前、終了後の短時間ではあるが、同級生・恩師との交流の場となっている。

点検・評価にあたって特記する事項等

・新型コロナウイルス感染症拡大予防として、松前城内の観濤台（屋外）で実施した。松前町ならではの場所で二十歳をお祝いするとして松前城での開催は今後も継続していきたい。

・観光地なので、観光客に配慮が必要。

◎松前町教育委員会外部評価の点検・評価の概要

○ 点数による評価				
区 分	要改善	要検討	妥 当	良 好
事 業 内 容	1	2	③	4
財 政 面	1	2	③	4
目 的 達 成 度	1	2	③	4
総 合 評 価	1	2	③	4

○ 点検・評価に対するコメント等

松前城での開催はとてもすてきだと思いうので継続されたい。

令和5年度 教育委員会の事務・事業の点検及び評価シート

【 令和4年度事務・事業分 】

事務事業番号	16
事務事業名	図書館運営事業

担当名	文化社会教育課生涯学習係
------------	--------------

令和4年度 予算の状況			
款	項	目	
10	教育費		
	4	社会教育費	
		3	
		3	
		金額(千円)	
	7	報償費	110
	8	旅費	217
	10	需用費	808
	11	役務費	170
	12	委託料	313
	13	使用料及び賃借料	83
	17	備品購入費	1,200
	18	負担金及び補助金	14
		計	2,915
		補助金等の有無	有・ (無)
(有 の 場 合)			
名 称			
金 額			

○ 決算額の推移

区 分/年 度	R2	R3	R4
決 算 額	4,915	2,479	2,622
対 前 年 比	△ 4,660	△ 2,436	143

○ 指標で表せない効果等

- ・徐々に人の集まるイベントを実施することが出来るようになり、3年ぶりに図書館まつりを開催。
- ・古本市を町内4か所で行い、大人向けの工作イベントも実施するなど、大人にも図書館を身近に感じてもらう取り組みを実施。

(事 務 ・ 事 業 の 概 要)	
①目的	<p>図書、記録その他の必要な資料の収集と整理保存を行い、町民の利用に供するとともに図書環境の充実を図ることを目的とする。</p>
②事業主体	<p>教育委員会</p>
③事業内容及び対象者等	<ul style="list-style-type: none"> ・入館者 3,514人、貸出冊数 12,651冊 ・図書購入 702冊(一般書484冊、児童書218冊) ・図書寄贈 305冊(一般書263冊、児童書42冊) ・蔵書数 39,606冊 ・貸出、返却及び利用者登録などのカウンター業務 ・ブックスタート事業 16組32人 ・郵便局図書コーナーの設置(7郵便局)755冊貸出 ・学級貸出(保育所、小中学校等)4,015冊貸出 ・すくすく教室読み聞かせ 218人 ・相互貸借 261冊(借受231冊、貸出30冊) ・図書館登録者数 1,448人

◎ 事業評価(自己評価)

○ 点数による評価

区 分	要改善	要検討	妥 当	良 好
事 業 内 容	1	2	③	4
財 政 面	1	2	③	4
目 的 達 成 度	1	2	③	4
総 合 評 価	1	2	③	4

点検・評価にあたって特記する事項等

- ・小中学校とは学校司書を通してよく連携を取り、学級貸出や図書館見学、学校での工作教室、授業で使用する本の貸出などを行っている。
- ・令和4年11月から児童デイサービス(健康センター)への団体貸出を開始。
- ・新型コロナウイルスの影響で令和4年4月2日～4月15日は休館となった。
- ・すくすく教室での読み聞かせは月1回～2回実施。

◎松前町教育委員会外部評価の点検・評価の概要

○ 点数による評価

区 分	要改善	要検討	妥 当	良 好
事 業 内 容	1	2	③	4
財 政 面	1	2	③	4
目 的 達 成 度	1	2	③	4
総 合 評 価	1	2	③	4

○ 点検・評価に対するコメント等

今後

令和5年度 教育委員会の事務・事業の点検及び評価シート
【 令和4年度事務・事業分 】

事務事業番号	17
事務事業名	町民総合センター管理事業

担当名	文化社会教育課生涯学習係
------------	--------------

令和4年度 予算の状況	
款	10 教育費
項	4 社会教育費
目	4 社会教育施設管理費
	節
	金額(千円)
10	需用費 10,273
11	役務費 974
12	委託料 764
13	使用料及び賃借料 175
14	工事請負費 19,338
17	備品購入費 13
18	負担金補助及び交付金 12
	計 31,549
	補助金等の有無 有・ 無
	(有 の 場 合)
名 称	
金 額	

(事 務 ・ 事 業 の 概 要)				
①目的 町民総合センター（公民館・体育館等）の施設管理と円滑な運営を図ることを目的とする。				
②事業主体 教育委員会				
③事業内容及び管理体制 ・公民館、体育館、図書館、郷土資料館等の複合施設である当該施設の管理運営 ・各種設備等施設の維持補修及び保守点検 ・会計年度任用職員3名				
改修内容	R2	新型コロナウイルス感染予防水回り、窓修繕	R3	2階オイルキャリア取替え修理
		正面玄関（手すり取付）		空調設備工事 1階和室、2階小会議室
	R3	グラウンド横遊具解体及び整地修繕	R4	空調設備工事 図書館5台、おはなしの部屋1台
		自動火災報知設備修繕		外壁防水塗装工事
誘導灯・防排煙設備修繕 防火扉修繕 FF式ストーブ部品交換修繕		屋上防水塗装工事 2階書庫資料室改修工事		

○ 決算額の推移

区 分/年 度	R2	R3	R4
決 算 額	14,396	14,599	31,100
対 前 年 比	△ 6,349	203	16,501

○ 指標で表せない効果等
コロナ禍の中、利用者は感染症対策（換気・消毒・検温）を講じて利用しています。

◎ 事業評価（自己評価）

○ 点数による評価

区 分	要改善	要検討	妥 当	良 好
事 業 内 容	1	2	③	4
財 政 面	1	2	③	4
目 的 達 成 度	1	2	③	4
総 合 評 価	1	2	③	4

点検・評価にあたって特記する事項等

- ・設置後約50年が経過し施設全体が老朽化していることから、今後の方向性を議論しながら、老朽化対策を計画的に推進していく。

◎松前町教育委員会外部評価の点検・評価の概要

○ 点数による評価				
区 分	要改善	要検討	妥 当	良 好
事 業 内 容	1	2	③	4
財 政 面	1	2	③	4
目 的 達 成 度	1	2	③	4
総 合 評 価	1	2	③	4

○ 点検・評価に対するコメント等
老朽化問題は検討していく必要がある。

令和5年度 教育委員会の事務・事業の点検及び評価シート
【 令和4年度事務・事業分 】

事務事業番号	18
事務事業名	交流の里づくり館管理運営事業

担当名	文化社会教育課生涯学習係
-----	--------------

款	10	教育費
項	4	社会教育費
目	4	社会教育施設管理費
節		金額(千円)
7	報償費	5
8	旅費	166
10	需用費	1,949
11	役務費	451
12	委託料	509
13	使用料及び賃借料	22
14	工事請負費	7,416
15	原材料費	5
17	備品購入費	91
18	負担金補助及び交付金	7
計		10,621
補助金等の有無		有・(無)
(有の場合)		

名称	
金額	
○ 決算額の推移	
区分/年度	R2 R3 R4
決算額	3,678 2,876 8,744
対前年比	△3,750 △802 5,868

◎ 事業評価(自己評価)				
○ 点数による評価				
区分	要改善	要検討	妥当	良好
事業内容	1	2	③	4
財政面	1	2	③	4
目的達成度	1	2	③	4
総合評価	1	2	③	4

○ 指標で表せない効果等
コロナ禍で利用が減っているが、町内(地域)の方が気軽に立ち寄れる場として確立しつつある。

点検・評価にあたって特記する事項等
平成23～27年度まで施設の管理運営が当課(管理)と商工観光課(運営)の2課にまたがっており、連携調整の難しさが指摘されていたが、平成28年度から施設の管理運営全般が当課に集約され利便性が高まった。
今後も施設の利活用向上のため、体験事業の検討や受入れ体制の強化に努める。

◎松前町教育委員会外部評価の点検・評価の概要

○ 点数による評価				
区分	要改善	要検討	妥当	良好
事業内容	1	2	③	4
財政面	1	2	③	4
目的達成度	1	2	③	4
総合評価	1	2	③	4

○ 点検・評価に対するコメント等
今後も継続されたい。

令和5年度 教育委員会の事務・事業の点検及び評価シート
【 令和4年度事務・事業分 】

事務事業番号	19
事務事業名	町民野球場管理事業

担当名 文化社会教育課生涯学習係

令和4年度 予算の状況		金額(千円)
款	10 教育費	
項	5 保健体育費	
目	2 体育施設費	
節		
10	需用費	3,209
11	役務費	59
13	使用料及び賃借料	1,593
17	備品購入費	92
計		4,953
補助金等の有無		有・ 無

(事務・事業の概要)										
①目的	町民の心身の健全な発達とスポーツ活動の普及振興を図ることを目的とする。									
②事業主体	教育委員会									
③事業内容及び対象者等	<ul style="list-style-type: none"> ・オープン 平成10年6月13日 ・グラウンド面積 12,729㎡ (両翼92m・センター120m) ・ナイター設備 (内野2基・外野4基) ・管理等業務管理体制～会計年度任用職員1名 ・各種大会の開催 小学校の試合の開催 ・4町スポーツ合宿の受入 (新型コロナウイルス感染症の影響により中止) ・春合宿の受入 (高校1校) ・利用状況 <table border="1"> <tr> <td>令和2年度</td> <td>18日</td> <td>548人</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>12日</td> <td>465人</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>37日</td> <td>1,296人</td> </tr> </table> 	令和2年度	18日	548人	令和3年度	12日	465人	令和4年度	37日	1,296人
令和2年度	18日	548人								
令和3年度	12日	465人								
令和4年度	37日	1,296人								
◎ 事業評価 (自己評価)										
○ 点数による評価										

名称			
金額			
○ 決算額の推移			
区分/年度	R2	R3	R4
決算額	2,027	2,142	4,840
対前年比	△ 1,661	115	2,698

区分	要改善	要検討	妥当	良好
事業内容	1	2	③	4
財政面	1	②	3	4
目的達成度	1	②	3	4
総合評価	1	②	3	4

○ 指標で表せない効果等
春合宿チームの町内滞在により、宿泊施設やコンビニなどに経済効果が認められている。

点検・評価にあたって特記する事項等

- ・野球場オープンから25年を経過し、設備の老朽化が進んでおり、地盤沈下等も見られ、毎年、小規模修繕により対応しているが、令和4年度はナイター照明塔の修繕を行った。
- ・ナイターリーグの試合数が減少しているため、次年度以降の発電機の借り上げ期間については、その都度、野球協会と協議し、決定していく。
- ・今後、温暖な気候を生かし、町外高校・大学に対し、春合宿利用の促進を図る。

◎松前町教育委員会外部評価の点検・評価の概要				
○ 点数による評価				
区分	要改善	要検討	妥当	良好
事業内容	1	2	③	4
財政面	1	②	3	4
目的達成度	1	②	3	4
総合評価	1	②	3	4
○ 点検・評価に対するコメント等 今後も継続されたい。				

令和5年度 教育委員会の事務・事業の点検及び評価シート
【 令和4年度事務・事業分 】

事務事業番号 20

事務事業名 ふれあい公園パークゴルフ場管理事業

担当名 文化社会教育課生涯学習係

令和4年度 予算の状況		金額(千円)
款	10 教育費	
項	5 保健体育費	
目	2 体育施設費	
節		
	8 旅費	14
	10 需用費	1,211
	11 役務費	147
	12 委託料	1,688
	13 使用料及び賃借料	30
	17 備品購入費	781
計		3,871
補助金等の有無		有・(無)
(有の場合)		
名称		
金額		

（事務・事業の概要）			
①目的 町民にふれあいの場と健康増進の場を提供し、その利用をもって地域の交流促進に資することを目的とする。			
②事業主体 教育委員会			
③事業内容及び対象者等			
・オープン 平成9年9月5日			
・面積 25,190㎡、距離1,289m、27ホール			
・芝管理等業務委託～パークゴルフ協会			
・会計年度任用職員2名～シーズン券、1日券、用具使用料の徴収			
・利用状況	R元年度	4,530人	618,470円
	R2年度	4,230人	476,320円
	R3年度	3,249人	368,718円
	R4年度	4,675人	555,850円
・開設期間 令和4年4月1日～11月30日まで 230日間			
※4月2日～4月15日新型コロナウイルス感染症、北海道緊急事態宣言に伴う閉鎖			

○ 決算額の推移			
区分/年度	R2	R3	R4
決算額	4,320	4,418	3,874
対前年比	△366	98	△544

◎ 事業評価（自己評価）				
○ 点数による評価				
区分	要改善	要検討	妥当	良好
事業内容	1	2	③	4
財政面	1	2	③	4
目的達成度	1	2	③	4
総合評価	1	2	③	4

○ 指標で表せない効果等
コロナ禍の中、施設閉鎖を受けたりしたことで、利用者は減少しましたが、町内のPG愛好者は感染症対策を講じながら練習や町内限定で大会を開催し活動していた。

点検・評価にあたって特記する事項等
・渡島西部4町と比較し、高額である利用料の改訂を検討するなど、利用しやすい環境づくりに取り組んでいく必要がある。
・芝管理委託先であるパークゴルフ協会の作業については、適切で丁寧な作業であり、利用者からは好評である。

◎松前町教育委員会外部評価の点検・評価の概要

○ 点数による評価				
区分	要改善	要検討	妥当	良好
事業内容	1	②	3	4
財政面	1	2	③	4
目的達成度	1	2	③	4
総合評価	1	2	③	4

○ 点検・評価に対するコメント等
今後も継続されたい。

令和5年度 教育委員会の事務・事業の点検及び評価シート
【 令和4年度事務・事業分 】

事務事業番号	21
事務事業名	町民体育館管理事業

担当名	文化社会教育課生涯学習係
-----	--------------

令和4年度 予算の状況	
款	10 教育費
項	5 保健体育費
目	2 体育施設費
	節
	金額(千円)
7 賃金	0
10 需用費	1,119
11 役務費	531
12 委託料	55
14 工事請負費	0
17 備品購入費	199
計	1,904
補助金等の有無	有・ (無)
(有の場合)	
名称	
金額	

(事務・事業の概要)	
①目的	社会体育、文化の振興を図るための場として町民体育館を設置し、もって町民福祉の増進に寄与することを目的とする。
②事業主体	教育委員会
③事業内容及び対象者等	<ul style="list-style-type: none"> ○江良町民体育館(主に団体利用) <ul style="list-style-type: none"> ・開館 昭和49年11月1日 ・総面積 1,041㎡(競技場540㎡、他に指導員室ほか) ・令和2年度 2,966人 令和3年度 1,965人 令和4年度 1,943人 ○茂草町民体育館(主に野球室内練習利用) <ul style="list-style-type: none"> ・開館 昭和55年4月1日 ・総面積 405㎡(競技場337㎡、他に器具室ほか) ・令和2年度 105人 令和3年度 64人 令和4年度 212人 ○松前町民体育館 <ul style="list-style-type: none"> ・開館 昭和47年9月1日 ・総面積 1,567㎡(競技場978㎡、他にギャラリーほか) ・運動競技のほかイベント行事など多目的利用 ・令和2年度 12,922人 令和3年度 18,952人 令和4年度 15,070人

○ 決算額の推移			
区分/年度	R2	R3	R4
決算額	6,472	1,090	1,994
対前年比	3,900	△ 5,382	904

◎ 事業評価(自己評価)				
○ 点数による評価				
区分	要改善	要検討	妥当	良好
事業内容	1	2	③	4
財政面	1	2	③	4
目的達成度	1	2	③	4
総合評価	1	2	③	4

○ 指標で表せない効果等
春合宿で茂草町民体育館の夜間の利用があった。
また、合宿に伴う宿泊などの経済効果もあった。

点検・評価にあたって特記する事項等
・全施設が老朽化していることから、今後の方向性を議論しながら、老朽化対策を計画的に推進していく。
・江良町民体育館は25年4月8日から月・水・金の週3日間の開館としている。
・松前町民体育館防火扉修繕
・江良町民体育館正面玄関差掛け修繕、差動式分布型感知器、バスケットボール用リミットスイッチ修繕

◎松前町教育委員会外部評価の点検・評価の概要				
○ 点数による評価				
区分	要改善	要検討	妥当	良好
事業内容	1	2	③	4
財政面	1	2	③	4
目的達成度	1	2	③	4
総合評価	1	2	③	4
○ 点検・評価に対するコメント等 今後も継続されたい。				

令和5年度 教育委員会の事務・事業の点検及び評価シート
【 令和4年度事務・事業分 】

事務事業番号 22
事務事業名 松前町文化団体連絡協議会事業

担当名 文化社会教育課生涯学習係

令和4年度 予算の状況			
款	10	教育費	
項	4	社会教育費	
目	1	社会教育総務費	
		節	金額(千円)
18	負担金補助及び交付金		59
計			59
補助金等の有無		有 ・ (無)	
(有の場合)			
名称			
金額			

○ 決算額の推移				
区分/年度	R2	R3	R4	
決算額	10	30	59	
対前年比	△ 120	20	29	

○ 指標で表せない効果等
 コロナ禍の中、感染症対策（換気・消毒・検温）を講じて初夏の美術展示会を開催した。
 開催に伴い発表の場の提供ができ、出展者の励みにつながっている。

(事務・事業の概要)

①目的
松前町における各地区文化団体協議会の連絡調整を図り、各種事業を行い文化の向上に寄与することを目的とする。

②事業主体 松前町文化団体連絡協議会
会長 佐橋 實孝 事務局 文化社会教育課

③事業内容及び対象者等
 ・加盟団体主催による各地区芸能祭の開催 3地区 (2～3月)
 (松前・小島・大島各地区文化団体協議会)
 ※新型コロナウイルス感染症の影響により小島地区春の芸能祭、大島地区芸能祭、松前地区春の芸能祭は中止
 ・道民芸術祭渡島管内祭
 舞台部門：知内町 展示部門：木古内町
 ・松前町文化祭 (令和4年10月28日～30日)
 ・総会及び役員会
 ・松前地区初夏の美術展示会開催 (令和4年7月13日・14日)

◎ 事業評価 (自己評価)				
○ 点数による評価				
区分	要改善	要検討	妥当	良好
事業内容	1	2	③	4
財政面	1	2	③	4
目的達成度	1	②	3	4
総合評価	1	2	③	4

点検・評価にあたって特記する事項等

・各地区で開催されている芸能祭、芸能文化祭には地域の特色を生かした催し物が出されており、地域の保育所園児、小学校児童の参加もあり盛会に行われていたが、令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった。
 ・多くの加盟団体サークルでは高齢化等により会員の減少が進み、役員等の補充が困難な団体もあるので、存続できるよう支援に努める。

◎松前町教育委員会外部評価の点検・評価の概要

○ 点数による評価				
区分	要改善	要検討	妥当	良好
事業内容	1	2	③	4
財政面	1	2	③	4
目的達成度	1	②	3	4
総合評価	1	2	③	4

○ 点検・評価に対するコメント等
 参加人数、団体数が少なくなると大変だと思いましたが、何とか継続されたい。

令和5年度 教育委員会の事務・事業の点検及び評価シート
【 令和4年度事務・事業分 】

事務事業番号	23
事務事業名	松前町PTA連合会事業

担当名	文化社会教育課生涯学習係
-----	--------------

令和4年度 予算の状況		（事務・事業の概要）			
款	10 教育費	①目的 各単位組織の連絡調整を図るとともに、松前町のPTA活動の充実に寄与する。 ②事業主体 松前町PTA連合会 会長 石戸保 事務局長 岩井栄一（松城小） ③事業内容及び対象者等 ・加盟団体～町内各小・中・高校5校 ・渡P連研究大会への参加 10月23日、森町、オンライン参加 ・町P連研究大会の開催 11月17日、10名参加 ・総会及び役員会の開催			
項	4 社会教育費				
目	1 社会教育総務費				
節				金額(千円)	
18	負担金補助及び交付金			60	
計				60	
補助金等の有無				有・(無)	
(有の場合)					
名称				◎ 事業評価(自己評価)	
金額				○ 点数による評価	
○ 決算額の推移		区 分	要改善 要検討 妥当 良好		
区分/年度	R2 R3 R4	事業内容	1 2 ③ 4		
決算額	15 20 60	財政面	1 2 ③ 4		
対前年比	△ 45 5 40	目的達成度	1 2 ③ 4		
○ 指標で表せない効果等		総合評価	1 2 ③ 4		
研究大会における先生方の意見は、松前町の発展につながる大変貴重なものである。		点検・評価にあたって特記する事項等			
		・町PTA連合会研究大会の開催などにより、町内小中の児童生徒の健全育成及びPTA活動の充実が図られた。			

◎松前町教育委員会外部評価の点検・評価の概要				
○ 点数による評価				
区 分	要改善	要検討	妥当	良好
事業内容	1	2	③	4
財政面	1	2	③	4
目的達成度	1	2	③	4
総合評価	1	2	③	4
○ 点検・評価に対するコメント等 今後も継続されたい。				

令和5年度 教育委員会の事務・事業の点検及び評価シート
【 令和4年度事務・事業分 】

事務事業番号	24
事務事業名	松前町文化祭実行委員会事業

担当名	文化社会教育課生涯学習係
-----	--------------

令和4年度 予算の状況	
款	10 教育費
項	4 社会教育費
目	2 公民館費
節	金額(千円)
18 負担金補助及び交付金	150
計	150
補助金等の有無	有・(無)
(有の場合)	
名称	
金額	

(事務・事業の概要)	
①目的	生活に潤いを与え、豊かな心を育てる文化活動の現状を多くの人々に発表し、松前町の芸術・文化の振興を図ることを目的とする。
②事業主体	松前町文化祭実行委員会 実行委員長 佐橋 實孝 事務局 教育委員会 文化社会教育課
③事業内容及び対象者等	令和4年10月28日(金)～30日(日) 松前町町民総合センター ・テーマ 「潮風に古都の煌文化祭」 ・来館者数 10月28日 93人 10月29日 450人(前年556人減) 10月30日 269人(前年113人減) 計 812人(前年576人減) ・実行委員会の開催 9月9日、10月13日、12月2日 計3回 ・展示部門 18団体個人参加(前年29団体) ・特別部門 12団体個人参加(前年13団体)

○ 決算額の推移			
区分/年度	R2	R3	R4
決算額	0	0	150
対前年比	△400	0	150

○ 事業評価(自己評価)				
○ 点数による評価				
区分	要改善	要検討	妥当	良好
事業内容	1	2	③	4
財政面	1	2	③	4
目的達成度	①	2	3	4
総合評価	1	②	3	4

○ 指標で表せない効果等			
コロナ禍で、舞台部門は行わず、展示部門と特別部門のみ開催することを実行委員会で決定した。日程も2日日程から3日日程とし、来場者の分散をはかった。			

点検・評価にあたって特記する事項等	
・コロナ禍で、今まで参加していた方から不参加の連絡をいただき、感染対策を講じた中でできることとして展示部門と特別部門を3日間開催とした。 ・今後は文化祭出展や文化活動に取り組みやすい環境づくりを行ったり、イベント内容の検討や住民周知を強化し、来場者数の増加に努める。	

◎松前町教育委員会外部評価の点検・評価の概要

○ 点数による評価				
区分	要改善	要検討	妥当	良好
事業内容	1	2	③	4
財政面	1	2	③	4
目的達成度	①	2	3	4
総合評価	1	②	3	4

○ 点検・評価に対するコメント等	
内容は検討の余地がある。展示部門など参加人数の減少など運営に対する改善が必要である。	

令和5年度 教育委員会の事務・事業の点検及び評価シート
【 令和4年度事務・事業分 】

事務事業番号 25

事務事業名 松前町青少年健全育成連絡協議会事業

担当名 文化社会教育課生涯学習係

令和4年度 予算の状況		金額(千円)	
款	10 教育費		
項	4 社会教育費		
目	2 公民館費		
節			
18	負担金補助及び交付金		200
計			200
補助金等の有無		有	・ (無)

(事務・事業の概要)

①目的
各地区青少年健全育成協議会との連絡調整を図り、青少年健全育成に寄与することを目的とする。

②事業主体 松前町青少年健全育成連絡協議会
会長 堺 繁光 事務局 文化社会教育課

③事業内容
・各地区(4地区)育成協への助成
・あいさつ運動事業(春・夏・秋の強調週間の実施)
・機関誌「きずな」の発行(4月発行)
・「少年の主張」の開催(11月19日)
会場 松前中学校体育館
発表者 小学生7名、中学生3名、高校生2名
・後援事業
第51回松前町下の句百人一首かるた大会(1月29日)
会場 松前町民体育館(武道場)
参加者 7チーム25名

名称

金額

◎ 事業評価(自己評価)

○ 点数による評価

区分	要改善	要検討	妥当	良好
事業内容	1	2	③	4
財政面	1	2	③	4
目的達成度	1	2	③	4
総合評価	1	2	③	4

○ 決算額の推移

区分/年度	R2	R3	R4
決算額	200	200	200
対前年比	0	0	0

○ 指標で表せない効果等
全目的にあいさつ運動を取り組み、子どもたちの安心・安全を図っている。

点検・評価にあたって特記する事項等

- ・春夏秋にあいさつ運動強調月間として交通安全運動と同時に広報車で啓発している。地域全体で取り組む体制が取れているとともに普段の声掛けも定着している。
- ・強調月間だけではなく、青少年の健全育成を目的とする取り組みを検討していく。
- ・少年の主張大会については、例年10月に開催していたが、学校行事の準備とぶつかるため、日程を11月に変更し、会場は松前中学校の体育館で開催した。

◎松前町教育委員会外部評価の点検・評価の概要

○ 点数による評価

区分	要改善	要検討	妥当	良好
事業内容	1	2	③	4
財政面	1	2	③	4
目的達成度	1	2	③	4
総合評価	1	2	③	4

○ 点検・評価に対するコメント等
今後も継続されたい。

令和5年度 教育委員会の事務・事業の点検及び評価シート
【 令和4度事務・事業分 】

事務事業番号	26
事務事業名	文化の香り漂う書のまちづくり推進協議会事業

担当名 文化社会教育課生涯学習係

令和4年度 予算の状況				
款	10	教育費		
項	4	社会教育費		
目	2	公民館費		
節		金額(千円)		
18 負担金補助及び交付金		3,630		
計		3,630		
補助金等の有無		有・(無)		
(有の場合)				
名称				
金額				
○ 決算額の推移				
区分/年度	R2	R3	R4	
決算額	500	1,135	3,630	
対前年比	△ 2,852	635	3,130	
○ 指標で表せない効果等				
書道パフォーマンス、席書大会、書道塾、見学会等を行い、子どもたちに書道を身近に感じてもらう場面づくりをしたことから数多くの大会等で優秀な成績を収めている。				

(事務・事業の概要)				
①目的 書のまちづくり推進協議会事業を推進し、書の普及図書の文化発展を図ることを目的とする。				
②事業主体 文化の香り漂う書のまちづくり推進協議会 会長 市田恵之				
③事業内容及び参加者等				
・書道パフォーマンス(令和4年5月14日) 参加者 9高校 127人(ほか特別参加 松前中・松城小)				
・城下マグロまつり席書大会(令和4年9月18日) 参加者 107人(町内57人・町外50人)				
・子ども書道塾(令和4年9月25日 松前町民体育館) 参加者 小学生14人 中学生7人				
・函館美術館「金子鷗亭と中野北溟」展見学 24名				
・書道出前講座(令和5年1/25.30…2日間) 小学5.6年生 26人(大島小7、松城小19)				
○ 事業評価(自己評価)				
○ 点数による評価				
区分	要改善	要検討	妥当	良好
事業内容	1	2	③	4
財政面	1	2	③	4
目的達成度	1	②	3	4
総合評価	1	②	3	4
点検・評価にあたって特記する事項等				
・新型コロナウイルス感染症が猛威をふるう前の事業に戻していくため、書のまちづくり推進協議会委員の先生方と協議をして実施する事ができた。				

◎松前町教育委員会外部評価の点検・評価の概要

○ 点数による評価				
区分	要改善	要検討	妥当	良好
事業内容	1	2	③	4
財政面	1	2	③	4
目的達成度	1	2	③	4
総合評価	1	2	③	4

○ 点検・評価に対するコメント等
良い事業ですので継続されたい。

令和5年度 教育委員会の事務・事業の点検及び評価シート
【 令和4年度事務・事業分 】

事務事業番号	27
事務事業名	松前町スポーツ協会事業

担当名	文化社会教育課生涯学習係
-----	--------------

令和4年度 予算の状況			
款	10 教育費		
項	5 保健体育費		
目	1 保健体育総務費		
	節		
18 負担金補助及び交付金	金額(千円)		
	480		
計	480		
補助金等の有無	有・ 無		
(有 の 場 合)			
名称			
金額			
○ 決算額の推移			
区 分 / 年 度	R2	R3	R4
決 算 額	316	321	480
対 前 年 比	△ 164	5	159
○ 指標で表せない効果等			
協会に所属している団体や、役員の方々の意見は大変貴重なものであり、町スポーツ発展の力添えとなっている。			

(事 務 ・ 事 業 の 概 要)	
①目的	スポーツ協会が行う体育振興事業及び会運営のために要する経費について補助し、松前町における体育の振興を図ることを目的とする。
②事業主体	松前町スポーツ協会 会 長 山本 勝美 事務局 文化社会教育課
③事業内容及び対象者等	・加盟団体 8 競技団体 2 地区体育振興会 ・渡島スポーツ・レクリエーションフェスティバル参加 ・各加盟団体の大会開催及び各種大会への選手派遣費への助成 ・会の運営及び育成費の助成 ・総会及び役員会

◎ 事業評価 (自己評価)				
○ 点数による評価				
区 分	要改善	要検討	妥 当	良 好
事 業 内 容	1	2	③	4
財 政 面	1	2	③	4
目 的 達 成 度	1	2	③	4
総 合 評 価	1	2	③	4

点検・評価にあたって特記する事項等	
・現在10団体で構成されており、どの団体も積極的に町内外の大会や行事に参加・企画等し、町の体育推進に貢献している。 ・助成金については決して十分とは言えないが、少年団等とは違い社会人での構成が主のため、当面は現状維持で良いと考える。 ・令和4年度はコロナ禍により中止となった大会がいくつかあったが、各団体限られた環境下で練習を励んでいた。	

◎松前町教育委員会外部評価の点検・評価の概要

○ 点数による評価				
区 分	要改善	要検討	妥 当	良 好
事 業 内 容	1	2	③	4
財 政 面	1	2	③	4
目 的 達 成 度	1	2	③	4
総 合 評 価	1	2	③	4
○ 点検・評価に対するコメント等 今後も継続されたい。				

令和5年度 教育委員会の事務・事業の点検及び評価シート
【 令和4年度事務・事業分 】

事務事業番号	28
事務事業名	松前町スポーツ少年団事業

担当名	文化社会教育課生涯学習係
-----	--------------

令和4年度 予算の状況					〈 事務 ・ 事業 の 概 要 〉																														
款	10	教育費			①目的 松前町スポーツ少年団本部が行う各種事業及び本部運営事業に対し補助し、各加盟団体の大会費及び選手派遣費への助成を行い、スポーツ少年団活動の育成と振興を図ることを目的とする。 ②事業主体 松前町スポーツ少年団本部 本部長 大西 仁 事務局 文化社会教育課 ③事業内容及び対象者等 ・加盟団体 6団体（野球・サッカー・陸上・ミニバスケットボール・百人一首・バレーボール） ・渡島スポーツ少年団協議会加盟負担金の支出 ・各加盟団体の大会開催及び各種大会参加への選手派遣費の助成 ・会の運営及び育成費の助成 ・総会及び役員会 ◎ 事業評価（自己評価） ○ 点数による評価																														
項	5	保健体育費				区 分	要改善	要検討	妥当	良好																									
目	1	保健体育総務費				事 業 内 容	1	2	③	4																									
		節	金額(千円)			財 政 面	1	2	③	4																									
18		負担金補助及び交付金	486			目 的 達 成 度	1	2	③	4																									
						総 合 評 価	1	2	③	4																									
						◎ 事業評価（自己評価） ○ 点数による評価 <table border="1"> <tr> <td>区 分</td> <td>要改善</td> <td>要検討</td> <td>妥当</td> <td>良好</td> </tr> <tr> <td>事 業 内 容</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>③</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>財 政 面</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>③</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>目 的 達 成 度</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>③</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>総 合 評 価</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>③</td> <td>4</td> </tr> </table>					区 分	要改善	要検討	妥当	良好	事 業 内 容	1	2	③	4	財 政 面	1	2	③	4	目 的 達 成 度	1	2	③	4	総 合 評 価	1	2	③	4
区 分	要改善	要検討	妥当	良好																															
事 業 内 容	1	2	③	4																															
財 政 面	1	2	③	4																															
目 的 達 成 度	1	2	③	4																															
総 合 評 価	1	2	③	4																															
		計	486																																
		補助金等の有無	有 ・ (無)																																
		(有 の 場 合)																																	
名 称																																			
金 額																																			
○ 決算額の推移																																			
区 分 / 年 度	R2	R3	R4																																
決 算 額	325	416	486																																
対 前 年 比	△ 163	91	70																																
○ 指標で表せない効果等																																			
少年団に所属している団体や、役員の方々の意見は大変貴重なものであり、町スポーツ発展の力添えとなっている。																																			
点検・評価にあたって特記する事項等																																			
・児童生徒数は減少傾向にあるが、引き続きスポーツを楽しむ機会を充実させるとともに、活躍する選手が生まれることを期待する。 ・令和4年度はコロナ禍により中止となった大会がいくつかあったが、限られた環境下で練習を励んでいた。																																			

◎松前町教育委員会外部評価の点検・評価の概要

○ 点数による評価				
区 分	要改善	要検討	妥当	良好
事 業 内 容	1	2	③	4
財 政 面	1	2	③	4
目 的 達 成 度	1	2	③	4
総 合 評 価	1	2	③	4

○ 点検・評価に対するコメント等
子どもの人数が少なく、団体競技は特に大変だと思いますが、継続されたい。

令和5年度 教育委員会の事務・事業の点検及び評価シート
【 令和4年度事務・事業分 】

事務事業番号	29
事務事業名	文化財保護管理事業

担当課名	文化社会教育課文化財係
------	-------------

令和4年度 予算の状況		金額(千円)	
款	10	教育費	
項	4	社会教育費	
目	5	文化財費	
節			
1	報酬		20
8	旅費		186
10	需用費		231
11	役務費		471
12	委託料		258
13	使用料及び賃借料		482
15	原材料費		10
17	備品購入費		163
18	負担金補助及び交付金		584
計			2,405
補助金等の有無			有・ 無
(有 の 場 合)			
名称			金額(千円)

○ 決算額の推移			
区分/年度	R2	R3	R4
決算額	2,304	1,543	2,312
対前年比	△ 3,208	△ 761	769

○ 指標で表せない効果等
・文化財を活用した観光振興効果
・住民の心のよりどころである文化財の保存

〔 事務・事業の概要 〕	
1. 目的	松前町に所在する国指定重要文化財『福山城本丸御門』など、国指定・道指定・町指定を含めた計42件の指定文化財及び埋蔵文化財・民俗文化財・古文書等の保存管理を図る。
2. 事業主体	教育委員会
3. 事業内容及び対象者等	(1) 松前町文化財保護審議会の開催(1回) (2) 各文化財の保護・管理 ・指定文化財の定期的巡回(文化財パトロールの実施) ・重要文化財、復元建物等の火災保険、警備委託 ・埋蔵文化財包蔵及び隣接地の試掘調査(423千円) (3) 補助金 ・松前町芸能保存団体連絡協議会(368千円) ・重要文化財龍雲院・法源寺山門の防災設備修理・点検(171千円)

◎ 事業評価(自己評価)				
○ 点数による評価				
区分	要改善	要検討	妥当	良好
事業内容	1	2	③	4
財政面	1	2	③	4
目的達成度	1	2	③	4
総合評価	1	2	③	4

点検・評価にあたって特記する事項等
・カメラドローンの備品購入により空撮が可能となり、試掘調査時の地点確認や発掘体験事業の記念撮影、福山城跡の周知広報など幅広く活用している。
・埋蔵文化財の保護として、小型風力発電設置等に伴う埋蔵文化財の試掘調査を実施している(9地点)。試掘調査に係る経費の負担は町教委のため、重機の借上料等を計上した。

◎松前町教育委員会外部評価の点検・評価の概要

○ 点数による評価				
区分	要改善	要検討	妥当	良好
事業内容	1	2	③	4
財政面	1	2	③	4
目的達成度	1	2	③	4
総合評価	1	2	③	4

○ 点検・評価に対するコメント等
風力発電関連の調査は多かったがよく対応しているように思われる。

令和5年度 教育委員会の事務・事業の点検及び評価シート
【 令和4年度事務・事業分 】

事務事業番号	30
事務事業名	文化財公開活用事業

担当課名	文化社会教育課文化財係
------	-------------

<p style="text-align: center;">令和4年度 予算の状況</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>款</td> <td>10</td> <td>教育費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>項</td> <td>4</td> <td>社会教育費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>目</td> <td>5</td> <td>文化財費</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>節</td> <td>金額(千円)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>7</td> <td>報償費</td> <td>410</td> </tr> <tr> <td></td> <td>8</td> <td>旅費</td> <td>78</td> </tr> <tr> <td></td> <td>10</td> <td>需用費</td> <td>397</td> </tr> <tr> <td></td> <td>11</td> <td>役務費</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td></td> <td>12</td> <td>委託料</td> <td>147</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>計</td> <td>1,042</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>補助金等の有無</td> <td>(有)・無</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>(有の場合)</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>名称</td> <td>金額(千円)</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>芸術文化振興基金助成金</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td colspan="4">○ 決算額の推移</td> </tr> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>区分/年度</td> <td>R2</td> <td>R3</td> <td>R4</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>864</td> <td>1,379</td> <td>1,041</td> </tr> <tr> <td>対前年比</td> <td>505</td> <td>515</td> <td>△ 338</td> </tr> </table> </table>	款	10	教育費		項	4	社会教育費		目	5	文化財費				節	金額(千円)		7	報償費	410		8	旅費	78		10	需用費	397		11	役務費	10		12	委託料	147			計	1,042			補助金等の有無	(有)・無			(有の場合)				名称	金額(千円)			芸術文化振興基金助成金	200	○ 決算額の推移				区分/年度	R2	R3	R4	決算額	864	1,379	1,041	対前年比	505	515	△ 338	<p style="text-align: center;">〔 事務・事業の概要 〕</p> <p>1. 目的 松前町に所在する各種文化財を公開・活用し、観光客誘致や郷土学習に資する。</p> <p>2. 事業主体 教育委員会</p> <p>3. 事業内容及び対象者等 (1) 郷土芸能大公開・松前神楽公開公演(4/29) (2) 各種講演会 ・アイヌ文化体験講座 ムックリ・トンコリ鑑賞、切り絵体験(9/8)。 (3) ふるさと学習の支援 ・縄文土器づくり体験、発掘体験、旧白神小学校文化財保管庫見学、昔の道具見学、ストーンサークル体感学習、松前城資料館見学、各種出前講座等(合計20件) (4) 情報発信 ・文化財特設サイト「まつまへの文化財」(5件)</p> <p>◎ 事業評価(自己評価)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="5">○ 点数による評価</td> </tr> <tr> <td>区分</td> <td>要改善</td> <td>要検討</td> <td>妥当</td> <td>良好</td> </tr> <tr> <td>事業内容</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>(3)</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>財政面</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>(3)</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>目的達成度</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>(3)</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>総合評価</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>(3)</td> <td>4</td> </tr> </table> <p>○ 指標で表せない効果等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒をはじめとした町民のアイデンティティ高揚効果 ・松前町の歴史を知ることによって、町民が郷土に対する自信と誇りを抱く ・文化財を活用した観光振興効果 ・文化財のもつ教育資源効果 <p style="text-align: center;">点検・評価にあたって特記する事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学校にて「ふるさと学習」「松前学」の学習援助ができた。小学校の野外活動、新規講座についても学校側と連携を密にして取り組んでいる。 	○ 点数による評価					区分	要改善	要検討	妥当	良好	事業内容	1	2	(3)	4	財政面	1	2	(3)	4	目的達成度	1	2	(3)	4	総合評価	1	2	(3)	4
款	10	教育費																																																																																																					
項	4	社会教育費																																																																																																					
目	5	文化財費																																																																																																					
		節	金額(千円)																																																																																																				
	7	報償費	410																																																																																																				
	8	旅費	78																																																																																																				
	10	需用費	397																																																																																																				
	11	役務費	10																																																																																																				
	12	委託料	147																																																																																																				
		計	1,042																																																																																																				
		補助金等の有無	(有)・無																																																																																																				
		(有の場合)																																																																																																					
		名称	金額(千円)																																																																																																				
		芸術文化振興基金助成金	200																																																																																																				
○ 決算額の推移																																																																																																							
区分/年度	R2	R3	R4																																																																																																				
決算額	864	1,379	1,041																																																																																																				
対前年比	505	515	△ 338																																																																																																				
○ 点数による評価																																																																																																							
区分	要改善	要検討	妥当	良好																																																																																																			
事業内容	1	2	(3)	4																																																																																																			
財政面	1	2	(3)	4																																																																																																			
目的達成度	1	2	(3)	4																																																																																																			
総合評価	1	2	(3)	4																																																																																																			

◎松前町教育委員会外部評価の点検・評価の概要																															
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="5">○ 点数による評価</td> </tr> <tr> <td>区分</td> <td>要改善</td> <td>要検討</td> <td>妥当</td> <td>良好</td> </tr> <tr> <td>事業内容</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>(3)</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>財政面</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>(3)</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>目的達成度</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>(3)</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>総合評価</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>(3)</td> <td>4</td> </tr> </table>	○ 点数による評価					区分	要改善	要検討	妥当	良好	事業内容	1	2	(3)	4	財政面	1	2	(3)	4	目的達成度	1	2	(3)	4	総合評価	1	2	(3)	4	<p>○ 点検・評価に対するコメント等</p> <p>良く努力し、対応しているものと思われる。</p>
○ 点数による評価																															
区分	要改善	要検討	妥当	良好																											
事業内容	1	2	(3)	4																											
財政面	1	2	(3)	4																											
目的達成度	1	2	(3)	4																											
総合評価	1	2	(3)	4																											

令和5年度 教育委員会の事務・事業の点検及び評価シート
【 令和4年度事務・事業分 】

事務事業番号	31
事務事業名	史跡指定地維持管理事業

担当課名	文化社会教育課文化財係
------	-------------

令和4年度 予算の状況					〔 事務・事業の概要 〕				
款	10	教育費			1. 目的 国指定史跡松前氏城跡福山城跡の環境保全、維持管理のための事業を実施する。 2. 事業主体 教育委員会 3. 事業内容及び対象者等 (1) 福山城周辺草刈り業務委託 ・公園管理による箇所や松前城資料館近隣を除く約30,000㎡の草刈りを5月～9月に委託した。 (2) 松前城内樹木剪定委託(三ノ丸) (3) 史跡指定地内修繕 ・史跡指定地内遊歩道(堀廻り地区) ・史跡指定地内転落防止柵修理(内堀) ◎ 事業評価(自己評価) ○ 点数による評価				
項	4	社会教育費							
目	6	史跡保存整備費							
節		金額(千円)							
8	旅費	0							
10	需用費	1,315							
12	委託料	1,730							
15	原材料費	42							
計		3,087							
補助金等の有無		有・(無)							
(有 の 場 合)									
名称		金額(千円)							
○ 決算額の推移									
区分/年度	R2	R3	R4						
決算額	1,984	2,815	2,984						
対前年比	△ 547	831	169						
○ 指標で表せない効果等									
・町民のアイデンティティ高揚効果 ・史跡を活用した観光振興効果 ・町民への雇用拡大									
点検・評価にあたって特記する事項等									
・令和4年2～3月の大雪により遊歩道が沈下したが、さくら祭り開催までに修繕を行った。また、令和4年12月の暴風雪で内堀転落防止柵がき損したことから雪解けを待って修理を行った。									
◎ 事業評価(自己評価)									
○ 点数による評価									
区 分	要改善	要検討	妥 当	良 好					
事業内容	1	2	(3)	4					
財政面	1	2	(3)	4					
目的達成度	1	2	(3)	4					
総合評価	1	2	(3)	4					

◎松前町教育委員会外部評価の点検・評価の概要					
○ 点数による評価					
区 分	要改善	要検討	妥 当	良 好	
事業内容	1	2	(3)	4	
財政面	1	2	(3)	4	
目的達成度	1	2	(3)	4	
総合評価	1	2	(3)	4	
○ 点検・評価に対するコメント等					
石垣の補修は早めに進めるべきと思われる。					

令和5年度 教育委員会の事務・事業の点検及び評価シート
【 令和4年度事務・事業分 】

事務事業番号	32
事務事業名	史跡松前氏城跡福山城跡保存整備事業

担当課名	文化社会教育課文化財係
------	-------------

令和4年度 予算の状況			
款	10	教育費	
項	4	社会教育費	
目	6	史跡保存整備費	
節		金額(千円)	
1	報酬	100	
8	旅費	1,035	
10	需用費	78	
11	役務費	38	
12	委託料	9,878	
計		11,129	
補助金等の有無		(有)・無	
(有の場合)			
名称		金額(千円)	
国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金		5,180	
区分/年度	R2	R3	R4
決算額	8,377	6,279	10,481
対前年比	6,767	△ 2,098	4,202

〔事務・事業の概要〕				
1. 目的 国指定史跡松前氏城跡福山城跡の保存・活用を図るため、平成28年度に策定した保存管理計画書に基づき、保存整備事業を実施する。				
2. 事業主体 教育委員会				
3. 事業内容及び対象者等 (1) 石垣カルテ作成 ・本丸地区に遺存する石垣1,440㎡を対象に、3次元レーザー計測及びカルテ作成業務委託を発注した(受注業者:株式会社パスコ札幌支店)。 (2) 史跡整備検討委員会 石垣分科会:北野委員、中井委員 現地指導:文化庁岩井調査官及び道教委係員1回、大萱委員1回 全体会議:大萱委員、近藤委員、谷本委員、田原委員 (3) 石垣石及び岩盤保護の専門家協議 函館高専 小玉准教授:対面協議1回、石切り場地区踏査1回、物理実験立会1回				

◎ 事業評価(自己評価)				
○ 点数による評価				
区分	要改善	要検討	妥当	良好
事業内容	1	2	(3)	4
財政面	1	2	(3)	4
目的達成度	1	2	(3)	4
総合評価	1	2	(3)	4

○ 指標で表せない効果等
・町民のアイデンティティ高揚効果
・史跡を活用した観光振興効果

点検・評価にあたって特記する事項等
・石垣石及び岩盤保護の専門家協議については、松前町文化財保護審議会の中村委員(元函館高専所属)の紹介により実現したものである。石切り場地区の複数箇所から石材をサンプリングし、簡易な物理実験により緑色凝灰岩の特性を把握しようとするものである。

◎松前町教育委員会外部評価の点検・評価の概要				
○ 点数による評価				
区分	要改善	要検討	妥当	良好
事業内容	1	2	(3)	4
財政面	1	2	(3)	4
目的達成度	1	2	(3)	4
総合評価	1	2	(3)	4
○ 点検・評価に対するコメント等				
町単独での事業ではないので、残念ながら進展が遅いと思われる。				

令和5年度 教育委員会の事務・事業の点検及び評価シート
【 令和4年度事務・事業分 】

事務事業番号	33
事務事業名	郷土資料館管理運営事業

担当課名	文化社会教育課文化財係
------	-------------

令和4年度 予算の状況				〔 事務・事業の概要 〕				
款	10	教育費		1. 目的 松前城資料館では松前藩の歴史に関する資料を、松前町郷土資料館では郷土の歴史、民俗、産業及び自然科学等に関する資料を収集、保管展示するとともに、それらを町内外の方々に広く公開する。 2. 事業主体 教育委員会 3. 事業内容及び対象者等 (1)資料館の開館期間 令和4年4月10日～12月10日 (2)入館実績 ・松前城資料館 ()内は前年度比 令和2年度 18,700人(-29,069) 6,208,686円(-9,643,383) 令和3年度 21,075人(+ 2,375) 6,907,316円(+ 698,630) 令和4年度 39,789人(+18,714) 13,046,595円(+ 6,139,279) ・郷土資料館 ※入館料無料 令和2年度801人(+66) 令和3年度741人(-60) 令和4年度943人(+202) (3)郷土資料館ミニ企画展の開催 4/10～7/31「郵政資料から振り返る松前の歴史」 8/1～12/10「マツマエ モダン ノスタルジア」				
項	4	社会教育費						
目	7	郷土資料館費						
節		金額(千円)						
7	報償費	22						
8	旅費	19						
10	需用費	2,582						
11	役務費	603						
12	委託料	46						
15	原材料費	135						
17	備品購入費	140						
計		3,547						
補助金等の有無		有・ 無						
(有 の 場 合)								
名称		金額(千円)						
○ 決算額の推移								
区分/年度	R2	R3	R4					
決算額	3,982	4,559	3,457					
対前年比	△ 10,619	577	△ 1,102					
○ 指標で表せない効果等								
・文化財を活用した観光振興効果 ・文化財の持つ教育資源効果 ・町民への雇用拡大								
点検・評価にあたって特記する事項等								
・松前さくらまつりは平年より期間を1週間短縮したものの開催され、松前城資料館の入館者数もコロナ禍前に近い数値に回復した。								
◎ 事業評価(自己評価)								
○ 点数による評価								
区分	要改善	要検討	妥当	良好				
事業内容	1	2	③	4				
財政面	1	2	③	4				
目的達成度	1	2	③	4				
総合評価	1	2	③	4				

◎松前町教育委員会外部評価の点検・評価の概要				
○ 点数による評価				
区分	要改善	要検討	妥当	良好
事業内容	1	2	③	4
財政面	1	2	③	4
目的達成度	1	2	③	4
総合評価	1	2	③	4
○ 点検・評価に対するコメント等				
ミニ企画展はよく計画されていると思うが、見学者の増加はあまり期待できず残念に思う。				

4 点検・評価のまとめ

松前町教育指針条例の制定から15年目となり、条例に定める5つの教育指針の実現に向けて、着実に取り組みが進められている。

学校教育については、平成30年度に地域全体で子どもたちの成長を支える学校運営協議会（コミュニティ・スクール）を設置するとともに、3小学校と1中学校を維持したまま、4校の教職員が一体となって小中9年間の一貫した教育活動を行うため小中一貫教育制度（松前学園）を導入した。

コミュニティ・スクール委員による体力向上指導や郷土料理親子体験、地域の風力発電に関するクリーンエネルギー学習、小中乗り入れ授業の実施など積極的な取り組みが見られ、人口減少や少子化が進む当町にとって、子どもたちの調和のとれた成長を遂げるために必要な制度であり、今後の活動が期待される。

学力向上は、子どもたちの基礎学力の向上に向け、松前町学力向上アクションプラン「ターゲットR4」に基づき「めざす状況（目標）の設定」と「授業力向上」により、学力アップを前進させる取り組みを行ってきた。全国学力・学習状況調査では、小学校は全国平均を上回り、中学校では全国平均を下回る結果となっており、引き続き基礎学力の向上へ向けて教職員が学力向上に対する意識を共有し、家庭学習も含めた組織的な取り組みを進めることが求められる。

また、令和2年度から小学校に導入された外国語活動（3、4年生）と外国語科（5、6年生）に対し、平成30年度からALT（外国語指導助手）を1名体制から2名体制へとし、小学校へも配置するなど先行した取り組みがなされ、充実が図られ、今後の成果が期待される。

国の教育課程特例校制度を活用しスタートした小学校の書道教育は12年目を迎え、学級担任と書道教育アドバイザーによるTT（ティームティーチング）の定着が図られ、子どもたちの書道に意欲的に取り組む姿勢も継続されている。

さらに、平成30年度に導入した松前学園による、小・中・高を通じた書道の一貫教育が可能となったことから、令和3年度においては、松前高校の生徒が高文祭北海道代表に選ばれ、中学校生徒においては2年連続北海道知事賞を受賞し、令和4年度においても、松前高校の生徒が全道高等学校書道展、研究大会において優秀賞を受賞し、小学生においては、2名の児童が創玄書道会全国学生書道展において学年優秀賞を受賞するなど着実に成果を上げており、書道教育推進会議や各学校と連携しながら一層書の日常化を継続していく必要がある。

スタートから9年目となる「ふるさと学習」については、「ふるさと読本松前」を有効活用した授業を町内の小・中学校で実施している。「ふるさと学習応援団」の方々の協力をいただき、町の自然や歴史の学習及び産業などの体験と町民との交流を実践し、郷土を愛する心を育てることのできる松前町の特性を生かしたふるさと学習がさらに展開されるよう期待したい。

学校施設等については、大島小学校特別教室の暖房改修や小島小学校昇降機改修など、適宜修繕等を行い教育環境の整備が図られている一方、校舎等の老朽化が進んでおり、計画的な改修及びメンテナンスを実施する必要がある。

松前高校の存続は、当町にとって大きな課題であり、地元進学率の向上や、松前高校の魅力づくりと積極的な情報発信など、その取り組みを強化しなければならない。

再開されたフランス国ブザンソン市のルイパスツール高校への研修派遣は、日本の伝統文化の紹介や現地の方々との交流などを通し、生徒一人ひとりが自信を深めて帰国し、報告会を通して研修成果が広く還元されており、研修内容の充実を求めながら支援を継続すべきである。

あわせて、平成28年度から実施した、ヨーロッパ等海外から日本に留学している高校生を松前町に招き、松前高校と交流を図る事業は、生徒に国際的な視野を身につけるためにも有効であり、今後も支援を継続すべきである。

また、保護者の負担軽減を図るため、通学定期券購入費補助や下宿費等補助、見学旅行費補助、奨学資金の貸付けなどについても継続して行うとともに、生徒の進路実現のため、確実に成果が現れている公務員試験対策講座やスタディサプリ高校講座、看護学校受験対策講座の運営経費及び各種資格取得、模擬試験に要する経費の補助も継続し、さらに松前高校に進学する重要な判断材料となるような事業により、魅力アップに努め、また、それを広くPRしていく必要がある。

学校給食は、子どもの心身の健全な発達を促す上で、大きな役割を果たしており、安全安心な学校給食の提供に努める必要がある。

米飯給食や地場産品を活用した献立の見直しなどにより、児童生徒に栄養バランスのとれた美味しい給食を提供するとともに、衛生管理の徹底と食中毒の防止に万全を尽くして行かなければならない。

また、令和4年4月から学校給食費の完全無償化を行ったことにより、さらなる保護者の経済的負担軽減が図られている。

学校給食代金の滞納繰越及び奨学資金の滞納繰越については、あらゆる機会を利用し、滞納の解消に向けて、粘り強い取り組みの継続が必要である。

社会教育においては、公民館事業や体育事業など、事業効果や多様化する町民ニーズを踏まえながら、生涯学習が担うべき役割を果たすために常に改

善工夫を重ねながら取り組んでいく必要がある。

特に、人口減少等とともに生涯学習活動を支える人材や、各種団体の維持が課題となっていることから、高齢化社会にも対応できる人材育成や、新たな人材の確保等、活動に対する支援が重要となっている。

なお、令和4年度における各種事業については、令和元年度から続く、新型コロナウイルス感染症防止対策のため、事業の縮小や中止を余儀なくされたものもあったが、感染防止対策を基本に新しい生活様式の下で、各種事業ができる限り効果的に実施できるよう努力していくことが望まれる。

公民館事業として実施しているいきいき教室（高齢者教室）については、5月から12月まで、3地区で各7回、合計で21回開催されていた。

今後とも高齢者の生きがい対策、地域の交流の場として引き続き内容を充実させ継続することを期待したい。

また、夏休みを利用して令和3年度から行われている「夏休みわくわく探検隊」や令和4年度から実施した「防災デイキャンプ」事業についても、親子で参加できる事業として好評であった。

今後も引き続き、公民館事業の充実を図ることに努められたい。

民法の改正により、令和4年4月から成年年齢が18歳に引き下げとなったが、全国的にもこれまでどおり二十歳での記念行事等が行われている。

松前町も感染症対策をしっかりと行う中で二十歳の節目を祝う「二十歳の集い」が松前城観濤台を会場に開催された。

成年としての自覚と今後の活躍を願う式典として、有意義なもの認められる。

文化の香り漂う書のまちづくりを推進するため、関係団体との連携により各種事業が継続的に実施され、令和4年度においては、10回目の節目であ

った書道パフォーマンスをはじめ、城下マグロまつり席書大会、書道塾、金子鷗亭記念書初席書大会が開催されていた。

今後とも、日頃から”書”が町民の目に触れるような環境づくりを心がけ、”書のまち松前”としての普及と日常化を推進するため、継続的な取り組みが大切である。

愛媛県まさき町との姉妹都市児童交流事業については、子どもたちの夏休みと冬休み期間を利用し、お互いの町を訪ねる交流を行っていたが、令和4年度は新型コロナウイルス感染症防止対策のため中止となった。

両町の気候風土や歴史・文化の違いを、肌で感じることができる貴重な体験となっていることから、代替事業として、お互いのまちの特産品を交換し合う特産品交流のほかに、両町の食材を使った給食交流が実施された。

また、平成28年度から行われている福島県伊達市との姉妹都市生徒交流事業は、中学校の生徒会が隔年でそれぞれの町を訪ね交流を図ってきており令和4年度は梁川中学校生徒会が来町し交流が図れていた。

青少年野外体験活動は、「松前小島」という稀有な地域資源を生かし、松前町の子供達にとって、「親子学習」「子育て支援」「ふるさと学習」などを目的とし、松前小島の自然を学ぶことができる事業として企画したが、悪天候のため中止となった。

ほかに、「親子で釣り体験」や「ウニ採り体験」なども実施し、自然とのふれあいの機会を創出する取り組みが行われていた。

百人一首カルタ大会は児童生徒の減少により少年団員の減少が著しいが、今後の活動に繋げるため、講習会を開催するなどし、大会が開催されていた。

全道大会にも出場していることから、今後の継続に向けて取り組んで行くべきである。

図書館管理運営については、子どもや町民の方々の読書活動を支援するため、ブックスタート事業、乳幼児への読み聞かせをはじめ、町内郵便局の図書コーナー運営、各学校図書支援のための学校図書連携事業、夏・冬休み期間中の子供工作教室や古本市などの取組みを行っている。

また、図書管理システムが導入され、約4万冊の蔵書の入力も完了し、本格的に稼働したことにより、今後、より一層充実した図書館活動が行われることが期待される。

子育て支援事業は、家庭の教育力の向上や子育て支援を進めるうえで大事な事業であり、関係機関と連携し幼児期から思春期の子どもを持つ保護者を対象に、松前町PTA連合会とタイアップし、「子育て応援セミナー」など、子育て支援と家庭教育の向上に取り組むこととなっていたが新型コロナウイルス感染症防止対策のため3年連続で中止となっていた。

松前町文化祭については舞台部門を中止するなど規模を縮小する中で3年ぶりに開催された。

年々、実行委員会に参加する団体の減少や高齢化などにより、これまでのように文化祭の内容を充実させていくためには、より一層の町民との連携が必要と思われるが、町民の交流の場として大切にしていきたい事業であることから支援を充実されたい。

体育事業（体育協会・スポーツ少年団含む）については、児童生徒や現役世代の住民の健康・体力向上と生きがい・楽しさの双方を目指したスポーツの振興に向けて、各種事業を推進してきており、今後も継続して取り組まれたい。

また、人口減少の中でも、一般の団体や少年団と学校教育での部活動との

連携が促進されてきており、今後も、町民の要望を踏まえながら、指導者支援・団体育成、団体に属していない住民の方々に対しての事業企画等を検討されたい。

城下マラソン&ヘルシーウォーキング大会については、松前高校との連携や「親子の部」の新設などにより、参加者が一定数確保されていた。

今後も創意工夫により、多くの方が参加することを期待する。

このほか、北海道の協力を得て「陸上教室」が行われたほか、「リズムジャンプ教室」や、昨年まで中止となっていた「町民ソフトバレーボール大会」も開催されていた。

施設の維持管理については、総合センター、交流の里づくり館、体育館、野球場やパークゴルフ場など、多数の施設を所管しているが、各施設全体に老朽化が目立ってきており、その都度限られた予算の中で、緊急性や安全面を考慮しながら営繕し対応している。今後も利用者の要望や情報交換を踏まえながら、計画的な補修や維持管理に努めていく必要がある。

文化財の保護管理については、国指定重要文化財はもとより、道指定、町指定を含めた計42件の指定文化財及び埋蔵文化財、民俗文化財、古文書等の保存管理を図ってきた。

平成29年度から伝承者及び保存団体育成としての事業の成果が見え始めている「松前さくらまつり」での定期公演については、新型コロナウイルス感染症防止対策のため中止となっていたが、3年ぶりに開催された。

文化財の公開活用のために、郷土資料館でのミニ企画展の開催、松前城資料館の展示替え等を積極的に実施し、町内外の多くの方々や、町内児童生徒

への「ふるさと学習」や「松前学」の学習援助を行うとともに、「歴史講演会」を実施し、郷土の歴史や文化を再認識できる学習機会が提供されていた。

史跡指定地の維持管理については、松前城資料館周辺の除草などの環境整備、松前藩主家墓所内清掃や内堀水源地及び水路の補修、指定地域内植栽管理などの通年の維持管理に加え、樹木伐採及び剪定を実施することにより史跡本来の遺構に影響を及ぼす恐れがあるもの、繁殖力の強い外来樹木などの除却が継続的に行われ、環境が改善されている。

前年度は新型コロナウイルス感染症防止のため中止となっていた史跡整備検討委員が1回開催され、また同検討委員会に石垣分科会が設置され、1回開催されていた。

今後の史跡の適切な整備に向けた精力的な検討が望まれるところである。

石垣の測量調査においては、令和3年度の新坂地区の測量に引き続き、令和4年度から3カ年計画で、史跡全体の石垣カルテの作成に取り組むこととなっている。

今後は石垣分科会を中心に、整備保存方針等の検討が適切に行われていくことが望まれる。

なお、松前城資料館の入館者については、新型コロナウイルス対策に伴う閉館等の影響が大きかった前年度からは18,495人の増となった。

御城印の発行や花火大会と合わせた夜間開放、松前城の日記念イベントなど、新たな取り組みも行われており、今後とも来場者に喜ばれるような創意工夫をした積極的な取り組みが期待される。

令和4年度は松前藩復領200年であったことから、記念事業が実施され

たが、記念誌の町内全戸配布や松前城資料館での特別展示、笠嶋コレクションの特別展示、歴史講演会などを実施し、各種歴史的資源を通じて松前町と福島県伊達市のつながりを再認識する良い機会となった。

令和4年度の外部点検評価者のまとめは、以上のとおりであるが、点検評価により課題となった点については、その改善に向け鋭意努力するとともに、「松前町教育指針条例」に掲げる教育指針の実現に向け、引き続き取り組みを進められたい。